

報告事項 1

●平成28年度事業実施報告(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年度の協会運営は、平成28年の定時社員総会で承認された事業計画と予算に則り、公益社団法人として、代表理事会長・理事副会長のもと理事会の執行機関として8つの「委員会」を設置し、各「委員会」ごとに責任を持って事業を推進し、全体を調整する機関として「総括運営委員会」を置き、当協会の理念に基づき、多岐にわたる協会の事業を具体的に効率よく実施し、収支ともほぼ予算内で行いました。

A. 公益事業

1. 日本写真協会賞の平成28年表彰及び平成29年選考【表彰委員会】

○平成28年対外発表及び表彰式、展示会の実施

- ・我が国の写真文化活動に顕著な功績が認められた内外の個人、団体をはじめ、前年に優れた作品・評論を発表された方々の中から2月18日に各賞の受賞者を選出し、3月18日の理事会で決定して、平成28年日本写真協会賞を、4月13日にカメラ記者クラブで対外正式発表しました。又、関係諸機関・一般紙報道機関や公共機関には、ニュースリリースを配布して広く写真愛好家に告知するべく広報活動にも注力しました。その後、表彰式を、6月1日午後5時30分より三田の笹川記念会館で開催し、引続き同館レストランで受賞者祝賀会パーティーを東京写真月間レセプションと兼ねて開催し210名の方々に参加いただきました。
- ・受賞作品展は六本木の富士フィルムフォトサロン東京で5月27日～6月2日に開催し、六本木という場所柄もあり、会員や写真愛好家以外にも多くの方々に受賞者の受賞内容を鑑賞いただきました。

○平成28年受賞者及び受賞理由(敬称略、五十音順)

☆作家賞： 畠山直哉

東日本大震災の被害をうけた故郷を撮影した作品群は、「自然と人間」に関する多年の写真行為と、当事者として写真を残していこうという揺るぎない意志を観る者に感じさせる。写真を手段として思想を映像化するその独自の作品制作に対して

☆作家賞： 山岸 伸

すぐれたカメラワークにより捉えられたタレントや各界著名人、ばんえい競馬のルポルタージュ、上賀茂神社の式年遷宮を撮影した作品など、誰にとってもわかりやすくかつ秀逸な長年の写真活動に対して

☆新人賞： 新井 卓

写真集『MONUMENTS』他で、被災した福島をはじめとする現実を見つめ、記録するために積極的にダゲレオタイプ(銀板写真)を用いた。そのユニークな作品制作に対して

☆新人賞： 初沢亜利

沖縄とどう向き合うかを自身と日本人に問いかけ大きなインパクトを与えた写真集『沖縄のことを教えてください』は、数多い沖縄の写真の中で異彩を放つ。その卓越した写真活動に対して

☆国際賞： 崔仁辰と『韓国写真史 1631-1945』翻訳チーム

韓国で1999年に上梓され、2015年に日本語版が刊行された『韓国写真史 1631-1945』は、韓国の写真史を知るための扉を開くものであり、日本統治時代の空白をうめるものともなっている。30年にわたる崔仁辰氏の研究の成果と、翻訳チームの緻密な訳業に対して

☆功労賞： 桑原史成

長期にわたって「水俣」など一貫したテーマを追いかけ、日本を代表する報道写真家の一人として、単に写真界だけでなく社会一般に影響を与え続けてきた。その長年の功績に対して

☆功労賞： (株)写真弘社(代表・柳澤卓司)

プロラボの先駆けとして、創立以来イベントや写真展に高度な技術を開発し提供し続けてきた他、ギャラリーの開設やカレンダーの発行など日本の写真文化振興に大いに寄与した功績に対して

☆功労賞： 広田尚敬

独自の表現による鉄道写真の先駆けとしてこの世界を牽引する第一人者となり、日本鉄道写真作家協会の初代会長を務めるなど、鉄道写真ブームに大いに貢献、その一端を担ってきた。その多大な功績に対して

☆学芸賞： 小原真史

IZU PHOTO MUSEUM の開館以降、同館にて骨太の企画を取り上げ、アカデミックに掘り下げつつ、同時に一般的な関心も引く展示を開催し、話題を呼び続けてきた。その活動に対して

○平成 29 年受賞者の選考

平成 29 年日本写真協会賞の選考は、恣意的な選考に陥らないよう、会員及びノミネーターから昨年末までに候補者の資料を広く収集し、平成 29 年 2 月 22 日（水）、5 名の選考委員による「選考会」を開催し、作家賞 2 名、新人賞 2 名、国際賞 1 団体、功労賞 1 名、学芸賞 2 名の受賞者を内定致しました。

これを平成 29 年 3 月 17 日開催の理事会で承認決定し、年度の改まった平成 29 年 4 月 13 日に对外発表。

○選考委員（敬称略、五十音順）

- 太田 睦子（『IMA』エディトリアル・ディレクター）
- 熊切 圭介（写真家・日本写真家協会会長）
- 瀬戸 正人（写真家）
- 鳥原 学（写真評論家）
- 本橋 成一（写真家）

○平成 29 年受賞者及び受賞理由（敬称略、五十音順）

☆作家賞： 有元伸也

一貫して人間に眼を向け、精緻かつ大胆に捉えてきた写真世界を写真展・写真集「TOKYO CIRCULATION」に成就させた。写真の力そのもの信じ長年続けてきた作家活動に対して

☆作家賞： 大西みつぐ

1970 年代から主に下町をテーマに確かな批評性をもって時代の変化を抽出し続け、さらに近年では写真集『川の流れる町で』や映画制作などを試みている。その広がり続ける長年のライフワークに対して

☆新人賞： 鶴崎 燃

「海を渡って」は日本における移民と難民の現在という忘れられがちな現代史の側面を丁寧に掘り下げ、日本とは何かを問いかけている。その良質なドキュメンタリー作品に対して

☆新人賞： 横田大輔

デジタル時代の写真表現の可能性に果敢に挑み、そのスピード感と作品のクオリティによりグローバルに活躍をしている。その将来を嘱望される作家活動に対して

☆国際賞： ポストン美術館

3. 11 を題材にした日本の写真家 15 人による作品展「In The Wake」は、写真というメディアが 3. 11 という壮大なテーマに対して果たしうる役割がいかに大きいかを知らしめた。その功績に対して

☆功労賞： 江成常夫

人間や社会と真正面から向き合い、洞察力のある眼差しで日本の負の歴史や現代社会が抱える問題を捉え、広く社会に訴え続けてきたその長年の作家活動に対して

☆学芸賞： 高橋しげみ

写真家の故郷青森で、同じ故郷をもつ者として作品と鑑賞者をつなぐ役割を担い、写真における「場」の重要性を改めて示した「生誕 80 周年 澤田教一：故郷と戦場」展をはじめとする卓越したキュレーションに対して

☆学芸賞： 鳥原 学

写真評論家として長年にわたり雑誌の連載やワークショップの開催、キュレーション活動などを通して若い写真家を励まし、広く写真愛好家に写真の魅力を伝えてきた。その活動に対して

2. 「東京写真月間2016」の開催と「大阪写真月間2016」への協賛 【写真月間委員会】

今年で創設21年目を迎えた「東京写真月間2016」は、当協会及び東京都写真美術館共催、外務省、環境省、文化庁、東京都、駐日モンゴル国大使館の後援、43の企業の協賛、YUKI TORIIの特別協賛、その他多くの協力・特別協力を頂き、5月20日から約6週間にわたって開催し、**延べ入場者数43,628人**を数え、7月2日好評のうちに終了しました。また地方巡回展には、北海道東川町、札幌市、福島県、長野県小諸市、金沢市、名古屋、福岡市での巡回展示開催いたしました。

○国内展 「人と鉄路」心をつなぐみち

総入場者数 19,142名

国内企画展では、我が国の鉄道は日本各地にネットワークを上げ人々の生活になくてはならない移動手段として成長発展し列島の風土・風景に溶け込んできました。鉄道は単なる移動手段を越えて、人々の思いや夢を運んでいます。そんな姿を表現した写真を開催。その後「写真の町」東川町文化ギャラリー7月2日～19日、金沢21世紀美術館市民ギャラリー8月23日～28日、福島テルサ11月15日～25日、小諸市立小諸高原美術館展示室12月1日～20日、九州産業大学美術館平成29年1月7日～12日を巡回致しました。

村上悠太写真展 「つなぐ旅」

オープンギャラリー(キヤノンSタワー2F) 5月20日～6月6日

入場者数 3,678名 (15日間)

旅先での出会いから始まる土地の話、旅の話、鉄道の話など、旅の途中のつながりを通じて、その土地ごとのかけがえのない生活とそこに生きる人々の日常を豊かに表現しています。

宇井真紀子写真展 「眠る線路」

コニカミノルタプラザ・ギャラリーC 5月24日～6月3日

入場者数 10,443名 (10日間)

軍需産業を支え、高度成長に貢献したものの廃線となった鉄道をテーマにしています。首都東京の片隅に何の痕跡もないように見える廃線跡を捉え、今は眠る線路にその時代の「今」を生きた人々のうごめきを感じさせます。

矢野直美写真展 「人あかりの路」

オリンパスギャラリー東京 5月27日～6月1日

入場者数 1,732名 (6日間)

身近な鉄道の存在を通して、時には厳しい冬の北海道の人の営みや思いをほのぼのと柔らかく表現しました。

米屋こうじ写真展 「ときのしずく」

エプソンイメージングギャラリーエプサイト 6月3日～23日

入場者数 3,289名 (21日間)

人々が抱く鉄道への様々な思いや刻まれた記憶からこぼれ落ちた'しずく'のごとき一粒一粒を丁寧に表現した写真を展示しました。

○国際展 「アジアの写真家たち2016 モンゴル」

総入場者数 9,958名

今年で12回目を迎えたアジアの写真家達は、近年発展めざましいモンゴル国を取りあげました。民主化移行後のモンゴルは、急速に発展をとげたにも関わらず、壮大な自然と共に生きる昔ながらの遊牧民たちと都市化が進む中心部と様々な顔が混在しています。そんなモンゴルを写真家たちは自由闊達に表現しており、モンゴルの多彩な写真家たちの表現をご覧ください。

「Refreshing Photographers in Mongolia Now」

キヤノン オープンギャラリー1 (キヤノンSタワー2F) 5月20日～6月6日 入場者数2,511名 (15日間)

Battulga Vandandorj、Lkhamsuren Ganzorig、Rentsendorj Bazarasukh、Oktyabri.Dash

6/2 (木) モンゴル写真家によるギャラリートーク

「Refreshing Photographers in Mongolia Now」

ソニーイメージングギャラリー 5月27日～6月16日

入場者数2,800名 (21日間)

Enkhjargal Sugarjav、Gotsbayar Rentsendorj、Ganbayar.U、Bolor-Erdene.B、Tumenjargal Alexander

「Refreshing Photographers in Mongolia Now」

新宿ニコンサロン 5月31日～6月13日

入場者数3,677名 (14日間)

Otgonjargal.Sh、Nyamgerel Baljinnyam、Temuulen.B、Bilguun Narmandakh

5月31日 清水哲朗とモンゴル写真家トークイベント

「Refreshing Photographers in Mongolia Now」

プレイスM 6月6日～12日

入場者数800名 (7日間)

Erdene Zagdsuren、Gerelsaikhan Sharav、Injinaash.Bor、NomingereL.L

「アジアの写真家たち2016 モンゴル交歓レセプション」

キャノンSタワー3FキャノンホールS ホワイエ 6月2日

出席人数：170名

モンゴル大使、横綱白鵬関を含め参加者約170名の交歓パーティーで日本の写真関係者と懇親ができました。

○「写真の日」記念 公募による写真展 2016

みどりのiプラザ 6月17日～23日

入場者数600名（7日間）

応募人数894名、応募枚数2,202点の中から外務大臣賞・環境大臣賞・優秀賞・協賛会社賞（53社）など合計264点展示。

選考委員：池本さやか、林 義勝（公社）日本写真協会

表彰式：6月18日 200名

「写真の町」東川町文化ギャラリー7月2日～19日、富士フォトギャラリー新潟7月27日～8月11日、金沢21世紀美術館市民ギャラリー8月23日～28日、ニコンサロンbis大阪9月29日～10月5日、HCLフォトギャラリー名古屋10月25日～11月7日、福島テルサ4Fギャラリー11月15日～25日、小諸市立小諸高原美術館市民展示室12月1日～20日、九州産業大学美術館平成29年1月7日～12日の8か所を巡回しました。

○「1000人の写真展 《わたしのこの一枚》」

ヒルトピアアートスクエア 6月23日～27日

入場者数1,026名（5日間）

※世界各国に配布する総務省発行統計本「STATISTICAL HANDBOOK OF JAPAN 2016」に5点選出掲載。

○企画展「見つけた！撮った！ワンダーランド」

みどりのiプラザ/ギャラリー1 5月14日～6月15日

入場者数2,000名（22日間）

1. 「こどもの目線」写真展 2016 1,100点展示 5月14日～27日

2. 「G サミット2016」 150点展示 5月31日～6月15日

※5月15日 写真展に参加した子供たちによるキックオフイベント実施（緑と水の市民カレッジ3F）

○日本写真協会賞受賞作品展

日本写真協会賞受賞作品展は5月27日～6月2日、東京六本木の富士フィルムフォトサロンで開催しました。

入場者数8,692名（7日間）

「東京写真月間2016」特別企画展

○「青春18きっぷ」ポスター紀行

キャノンオープンギャラリー1・2（キャノンSタワー2F）6月7日～6月21日 入場者数5,557名（13日間）

「写真の町」東川町文化ギャラリー7月2日～19日、さっぽろ東急百貨店9階催事場8月4日～14日、金沢21世紀美術館市民ギャラリー8月23日～28日、小諸市立小諸高原美術館展示室12月1日～20日、九州産業大学美術館平成29年1月7日～12日を巡回、次年度に奈良県立美術館4月15日～5月21日、高知県立文学館6月3日～25日を予定。

○「アジアの写真家たち ミャンマー」Bright and Religious Country

ふげん社（築地ガーデンビル2F） 5月31日～7月2日

入場者数2,000名（22日間）

Part1：5月31日～6月16日

Mang Ni Oo、Kyaw Kyaw Winn、Kyaw Zaw Lay

Part2：6月17日～7月2日

Zaw Min、Soe Than Htike、Thandar Soe

○レセプション

6月1日 午後6時40分より三田の笹川記念会館レストランで、日本写真協会賞受賞者祝賀会、叙勲・褒章受賞者祝賀会と東京写真月間オープニングセレモニーを兼ねて開催し210名の方々に参加いただきました。

○図録の発行

平成28年に実施した「東京写真月間2016」を総括した図録を作成して、ご協力いただいた関係機関に配布すると共に関係各国大使館や図書館、美術館、ギャラリー、行政府等の公共機関にも無料提供。

また、「写真の日 記念写真展」入賞者等購入を希望する写真愛好家には一冊2,000円で頒布しました。

この「東京写真月間2016」の開催にあたり、外務省、環境省、文化庁、東京都、駐日モンゴル国大使館のご後援、各企業、団体からのご協賛、ご協力をいただきました。

○「大阪写真月間2016」を共催

大阪の写真文化の向上を目指す「大阪写真月間」は今年で15年目を迎え、下記内容の写真展等を実施しましたが、その趣旨に賛同し協賛金450,000円を協賛して応援しました。

- ① 小学生のための写真教室「親子で挑戦！モノクロ写真教室」 3月21日 ビジュアルアーツ専門学校
参加人数:13家族18名 一眼レフでモノクロフィルムフィルム現像プリント体験。協力:富士フィルム(株)
- ② 写真家150人の一坪展 5月28日～6月11日 7会場 参加者147名
大阪ニコンサロン、ニコンサロンbis大阪、キャノンギャラリー梅田、富士フィルムフォトサロン大阪、
ビジュアルアーツギャラリー、オリンパスギャラリー大阪、イロリ村89クレフ
- ③ 大阪写真月間ハイスクールフォトアワード2016
6月9日～15日 ニコンサロンbis大阪 参加53校309作品
平成28年度から日本写真協会会長賞を設定:6月12日 和歌山県立神島高等学校鈴木帆香氏に授与
- ④ 写真展「私のこの一枚」 6月8日～13日 イロリ村 [89] 画廊 351作品
- ⑤ 飯沢耕太郎氏講演会「写真集は文化だ！」 5月18日 アーツホール
大阪市北区ビジュアルアーツ専門学校新館3階 参加者166名

3. 国際交流活動 【国際交流委員会】・【写真月間委員会】

① 国際展 「アジアの写真家たち2016 モンゴル」

モンゴル国から国際展出展の写真家及び関係者が来日し、日本の写真関係者と交流。

② 写真展:カサソラ・コレクションの巡回 (駐日札幌メキシコ名誉領事館共催)

平成27年度にメキシコ大使館(10月)にて開催されたカサソラ・コレクションの巡回展を札幌及び福岡にて巡回。

札幌:4月4日～11日 札幌駅地下広場

福岡:6月18日～7月13日 ラテン文化センターティエンボ

③ 講演会の開催: アルゼンチン人写真家セレステ・ウレアガ講演会「地球の裏側から」

8月30日にセレステ・ウレアガ氏による講演会「地球の裏側から」をJCIIビル6階会議室にて開催、約40名が参加しました。内容の一部は平成28年11月発行会報467号に掲載しました。

④ 第25回FAPA(アジア写真芸術団体連合)50周年大会に参加

10月27日～31日に、台中にてFAPAの第25回大会が開催され、アジア15か国の60団体から300名が参加。日本からは合計8名が参加しました。伝統的な爆竹を使った踊りやドラゴンダンス撮影の他、理事会、参加写真愛好家との交流会、講演会に参加しました。

⑤ 清里フォトミュージアム 大原治雄展「ブラジルの光、家族の風景」内見会に15名が参加

10月21日に、清里フォトミュージアムにて、大原治雄展を解説付きで鑑賞、ブラジルのモレイラ・サーレス財団のセルジオ・ブルギ氏によるギャラリートーク、駐日ブラジル大使館ペドロ・ブランカンチ氏と面談して交流。

⑥ 日本・キューバ交流撮影ツアーの開催

日本・キューバ交流事業のひとつとして、平成29年1月18日～25日に撮影ツアーを開催し、13名が参加しました。また、ハバナ滞在中、平成29年8～9月に日本写真協会新人賞展を開催するCASA de ASIA ディレクターのテレシータ・エルナンデス氏と写真展の詳細についての打合せを行いました。

⑦ モスクワ日本文化フェスティバル「HINODE2016」に「日本の四季」作品展示

4月23、24日に日本写真協会会員で結成されたフォトグループいぶきの「2016四季のいぶき」作品62点を展示、14,000人の来場者に日本の美しい四季折々の風景写真を鑑賞いただきロシア国民に元気を与えました。

4. 写真・映像教育の推進 【写真・映像教育推進委員会】

写真・映像教育の推進事業は、子供達に写真の楽しさ、面白さなど感動と親しみを目的に写真体験教室を実施し、28年度を含めて11年間で、245ヶ所、11,160名が参加しました。

平成28年度実施状況

「手作りピンホールカメラ写真体験教室」：17ヶ所 参加人数874名

「デジタル写真体験教室」：14ヶ所 参加人数376名 計31ヶ所 1,250名参加

■平成28年度 写真体験教室実施状況

	会場・主催者	内容	開催日	対象	参加数
1	小平中央公民館	デジタル	4月16日	小学生	29
2	世田谷区立松沢小学校同窓会主催	デジタル	4月23日	小学1年～6年	38
3	京都国際写真祭2016	ピンホール	5月14日	小学生と親	39
4	大田区立中萩中小学校	ピンホール	5月31日	小学1年～6年と保護者	45
5	川崎市立木月小学校生活科授業	デジタル	6月22、24、7月6日	小学2年	56
6	本中山一丁目青少年育成会	デジタル	7月3日	小中学生と親	13
7	秦野市本町公民館	ピンホール	7月24日	小・中学生	22
8	本郷中央教会・教会学校	デジタル	7月25日	小学生と保護者	12
9	町田市フォトサロン	ピンホール	7月27・28日	小学生以上	23
10	新宿区立四谷子どもひろば	デジタル	7月27日	小学生	13
11	新宿区立柏木子どもひろば	デジタル	7月29日	小学生	21
12	金沢いしかわ子ども交流センター	ピンホール	7月30、31日	小学生の親子	93
13	新宿区立天神子どもひろば	デジタル	8月1日	小学生	13
14	世田谷区立松沢小学校	ピンホール	8月3日	小学3年～6年	28
15	小平第四小学校	ピンホール	8月5日	小学生	38
16	兵庫県立ものづくり大学校	ピンホール	8月8日、9日	小学生の親子	81
17	府中市生涯学習センター	ピンホール	8月18日	小学生	27
18	パワーセンター大船植物園	ピンホール	8月20、21日	小学生の親子	78
19	台東区立石浜小学校放課後子供教室	ピンホール	8月24日	小学生	33
20	名古屋市科学館	ピンホール	8月27、28日	小学生の親子	83
21	小平第十四小学校総合学習授業	デジタル	10月27日	小学3年2クラス	60
22	小平市立第八小学校放課後子ども教室	デジタル	11月5日	小学1年～3年と保護者	18
23	(KASTから受託) 横浜市立いずみ野小学校	ピンホール	11月7日	小学6年2クラス	73
24	Art Photo Tokyo	ピンホール	11月19日	幼～中学生の親子	11
25	多摩六都科学館	ピンホール	11月26、27日	小学生	95
26	板橋区立赤塚新町小学校	ピンホール	12月17日	小学生	25
27	新宿区立愛日小学校子どもひろば	デジタル	12月26日	小学生	17
28	神奈川県立横浜平沼高校	ピンホール	1月18、20、25、27日	高校2年	73
29	世田谷区立若林小学校PTA	デジタル	1月29日	小学生	46
30	新宿区立早稲田小学校子どもひろば	デジタル	3月27日	小学生	25
31	新宿区立戸塚第一小学校子どもひろば	デジタル	3月29日	小学生	22
				合計	1,250

① ピンホール写真体験教室

写真・映像教育推進活動が学校関係者にも広く知られるようになり、小学校の理科、図工や総合的な学習の時間の正規授業として行われる事例も増えており、高等学校の美術授業においては、撮影実習だけでなく事前レクチャーとして写真・映像全般について講義を行ないました。

② デジタル写真体験教室

デジタル写真教室では、プログラムの更なる充実を図り31件中14件の写真教室を実施しました。小学校から依頼を受け、カメラを通して「周囲の人との身近なふれ合いや地域とのかかわりを学ぶこと」や「表現する

ことの楽しさ・面白さを体験すること」などをテーマとした授業なども実施しました。子どもたちは自由に色々な被写体を追いかけて、大伸ばしの四切プリントに感動し、撮影意図についても的確な意見発表をする子どもが多く、楽しい体験ができた大変好評でした。

神奈川県「なるほど！体験出前教室」（神奈川県研究者・技術者等学校派遣事業）の講師として採用され、神奈川県内の小学校1校でピンホール写真の授業を実施しました。また、「第10回東京都教育支援コーディネーター・フォーラム」（主催：東京都教育委員会）参加し、プログラムの紹介や、学校支援に関わっている方々と交流を深め、効果的な教育プログラムのあり方等について情報・意見交換を行いました。

東京、神奈川など首都圏の教育支援事業として認知度を高め、写真映像教育への関心は大きな広がりを見せています。首都圏以外では、京都国際写真展、名古屋市科学館、兵庫県写真師会の協力を得て兵庫県立ものづくり大学校、石川県写真館協会の協力を得て金沢いしかわ子ども交流センターで小学生の親子を対象とした教室を実施しました。

5. 日本写真年鑑の発行 【出版広報委員会】

1958年（昭和33年）に創刊の、「日本写真年報」は編集発行事業を《不特定多数の利益の増進》に資する公益事業とすべく年間の写真活動が長年にわたって継続集約された国内唯一の資料となっており、写真関係者はもとより、諸官庁、報道機関、教育機関、美術館、図書館など広く各方面より好評を得ています。2013年版から「日本写真年鑑」と名称変更し、約2倍に増ページして従来の写真業界の年報としての機能に年間を通じて写真界の幅広い情報を掲載。さらに一般読者に興味を持っていただけるような話題を盛り込み、2015年の写真活動状況をつぶさに記録すると共に、将来を展望する内容を追加。本書により老若男女すべての読者にとって、写真を通じて新たな発見が得られるよう2016年版・第59巻を6月1日に発行致しました。

B. 共益事業

1. 会報の発行 【出版広報委員会】

28年度は、季刊として年4回、5月・8月・11月・2月に465号～468号を発行し、各時点における協会の活動や今後の計画、写真文化情報などを紹介しました。

・主要掲載記事

465号：日本写真協会賞受賞者決定、「写真月間2016」開幕、日本の伝統文化を見つめ直す CP+2016

466号：リニューアルオープンする東京都写真美術館、「3・11以後を語る」「楽しい写真を撮りたい」大阪写真月間2016

467号：「大原治雄をめぐる旅」、フォトキナ2016取材レポート「ダゲレオタイプから浮上する見えない力」

468号：「未来に技術を継承する」、「大好きな鉄道を撮り続けて60余年」、「知られざる日本写真開拓史」

2. 日本写真協会賞受賞祝賀会 兼 叙勲・褒章祝賀式典 兼 東京写真月間レセプション 開催

【総務委員会・写真月間委員会】

6月1日に笹川記念会館において、日本写真協会賞表彰式及び当該年度の写真界における叙勲・褒章祝賀式典を行ない、引続き受賞祝賀会と東京写真月間レセプションを共同開催。会員の親睦を図る意図も含め「写真の日」事業の一環として開催しました。210名の方々に参加いただきました。

C. 法人運営事業

1. 公的機関が主催する写真コンテスト・イベントへの参加協力 【総務委員会】・【写真月間委員会】

公益社団法人に移行後、公的機関等からの写真コンテスト・イベントの相談及び協力依頼に対応。

① 第32回「写真の町東川町フォトフェスタ」へ事業協力

昨年、写真都市宣言をした、北海道、東川町主催の第32回「写真の町・東川町フォトフェスタ」（7月2日～19日）に東京写真月間2016で開催した「国内企画展」「写真の日記念写真展」の展示作品を東川町文化ギャラリーへ巡回して協力しました。

2. 社員総会・理事会・総括運営委員会の開催 【総務委員会】

4月22日の第1回通常理事会において、平成27年度事業報告、貸借対照表および損益計算書の承認、会長の業務執行権代行者、役員報酬の支給方法、定時社員総会開催内容を決定いたしました。6月15日に平成28年度定時社員総会を開催、議決権者1,746名、議決権行使1,031名（出席40名を含む）で平成27年度事業報告、平成28年度事業計画・予算を報告、平成27年度決算、新理事2名選任、役員報酬総額を決定。平成29年3月17日に第2回通常理事会を開催、平成29年度事業計画、平成29年度予算、2017年日本写真協会賞決定を承認致しました。

また、奇数月の5月16日、7月19日、9月20日、11月21日、1月16日、3月13日の6回、2ヵ月間の事業報告及び財務状況を代表理事会長、理事副会長に各委員会委員長が報告する総括運営委員会を開催。

3. コンプライアンス委員会 【総務委員会】

平成29年3月13日 コンプライアンス委員会を開催（大平業務執行理事、井沢理事、上田理事、松本理事）し、平成28年度の公益事業に関し点検及び、政府の働き方改革に沿って当協会職員の過労働・残業についての点検を実施。

4. 展覧会等の後援 【総務委員会】

当協会は公的機関や学校教育機関、マスコミ、写真関係団体等が主催し、内容が文化、教育、国際交流に寄与する写真展等に対して後援・協賛・協力を行っていますが、平成28年度は以下の催事をバックアップしました。

	申請者	写真展名	会期・場所
1	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら実行委員会	相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら2016	4月1日～平成29年3月31日 相模原市民ギャラリー他
2	フォトグループいぶき	第5回「四季のいぶき」展 【協力】	4月8日～14日 富士フィルムフォトサロン(六本木)、4月23日・24日「HINODE2016」展(ロリア・モスク)出展、5月27日～6月8日 富士フォトギャラリー(調布)
3	㈱クレヴィス	写真展「土門拳の古寺巡礼」	4月16日～6月26日 岡山県高梁市成羽美術館
4	一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2016」	4月23日～5月22日 京都市内17会場
5	ニュー・インターナショナルリスト・ジャパン/共催：ドリック・ジャパン	ワークショップ「多文化旅行写真術～写真で伝えるアジアのイメージ2」	4月24日・5月15日 14時～16時30分 豊島区民センター
6	「マグナム・ファースト」日本展実行委員会	「マグナム・ファースト」日本展	4月26日～5月15日 代官山ヒルサイドフォーラム
7	一般社団法人日本写真文化協会	「第62回全国展フォトコンテスト」 【協賛】	6月～10月 東京都美術館、ポートレートギャラリー、富士フィルムフォトサロン札幌・名古屋・大阪・福岡
8	朝日新聞社	世界報道写真展2016	6月3日～6月25日 京都・立命館大学国際平和ミュージアム、6月27日～7月8日 滋賀・立命館大学びわこくさつキャンパス、7月11日～7月24日 大分・立命館大学アジア太平洋大学、7月27日～8月7日 福岡・伏見モル直方、8月9日～8月18日 大阪・ハービスHALL、9月3日～10月23日 東京都写真美術館、10月25日～11月6日 埼玉・イルクワン kaze
9	日本写真学会・写真感光材料工業会	「2016年度PHOTONEXT 技術アカデミー」	6月20日 パシフィコ横浜
10	株式会社プロメディア	PHOTONEXT 2016 【協力】	6月21日～6月22日 パシフィコ横浜
11	生きもの写真リトルリーグ実行委員会	「第2回生きもの写真リトルリーグ写真コンテスト」	
12	ロバート・ウィテカー写真展実行委員会	「ロバート・ウィテカー写真展 歴史を刻んだビートルズ日本公演の記録」	6月25日～9月4日 中野区温暖化対策推進オフィス内特設会場
13	公益社団法人日本広告写真家協会	第8回「全国学校図工・美術写真公募展」	7月11日～11月21日 (応募受付)、展示：東京都写真美術館地下1階展示室 (平成29年3月4日～19日)

	申請者	写真展名	会期・場所
14	東川町写真の町実行委員会	第32回東川町国際写真フェスティバル (フォトフェスタ2016)	7月26日～8月31日 東川町町内一円
15	クレヴィス 富士フィルム株主催	写真展「昭和のこども」	7月29日～8月10日 富士フィルムフォトサロン大阪
16	学校法人 日本放送協会学園	第23回NHK学園「旅の写真展」	8月24日～29日 みなとみらいギャラリー (横浜)
17	日本山岳写真協会	2016山岳写真フェスティバル	8月31日～9月7日 東京都美術館 公募展示室・ 講堂 2017年3月7日～3月12日 京都市美術館 本館
18	長野県阿智村	第19回熊谷元一写真賞コンクール	応募締切 9月16日、10月下旬に「信濃毎日新聞」 「中日新聞」及び地元紙に発表予定
19	「こっぼんー大使たちの視線」写真 展実行委員会	「こっぼんー大使たちの視線 2016」写 真展 “Japan through Diplomats’ Eyes”	10月4日～10日 六本木ヒルズ ヒルズカフェ、 10月21日～30日名古屋セントラルパークギャラリ ー、 12月9日～平成29年1月12日 ひょうご国際ブラ ザ 交流ギャラリー、 平成29年9月予定 東川町文化ギャラリー
20	日本神輿協会アカデミー	第十四回大江戸神輿まつり IN 木場公 園・第10回フォトコンテスト 【協力】	第十四回大江戸神輿まつり IN 木場公園 10月9 日 東京木場公園・第10回フォトコンテスト 11 月15日～19日 木場公園ミドリウム
21	三軌会写真部	「森羅万象 地球同郷 空は一つ」写真展	10月30日～11月3日 長崎市コクラヤギャラリー 4F、11月6日～9日 長崎市コクラヤギャラリー 3F
22	西多摩百景写真展実行委員会 (担当河野)	「第15回西多摩百景フォトコンテス ト」	応募期間：11月1日～30日 展示期間：平成29年 1月18日～22日 羽村市生涯学習センターゆとろ ぎ
23	ニュー・インターナショナルリスト・ ジャパン/共催：ドリック・ジャパ ン	ワークショップ「異文化旅行写真術～写 真で伝えるアジアのイメージ」 【協力】	11月15日 14時～16時30分 豊島区民センター第14会議室
24	上海撮影協会日本代表 Seki 周	中国写真家作品日本巡回展	12月23日～26日 長野県上田市立美術館ほか
25	デイズ・ジャパン(株)	「第13回DAYS国際フォトジャーナリズ ム大賞」	平成29年1月～12月
26	公益財団法人 土門拳記念館	写真展「わたしのこの一枚」 【協力】	平成29年1月4日～1月24日 土門拳記念館
27	日本放送協会学園	「第27回NHK学園生涯学習写真展」	平成29年2月3日～9日 富士フィルムフォトサロン東京
28	一般社団法人カメラ映像機器工業会	「CP+ 2017」 【協力】	平成29年2月23日～2月26日 パシフィコ横浜
29	世界文化遺産広島20周年記念写真展 実行委員会	「世界文化遺産広島20周年記念写真 展」	平成29年3月7日～3月12日 日広島県立美術館
30	クレヴィス	長倉洋海の眼 地を這い、未来へ駆ける	平成29年3月25日～5月14日 東京都写真美術館

附属明細書

該当事項がないため、記載を省略しております。

以上